

ごはんだいすき

大崎市立東大崎小学校 1年 中 里 恭

「あさごはん、パンにする、ごはんにする。」まいあさ、おかあさんがそうききます。おとうとは、

「パンがいい。」

と、こたえますが、わたしはぜったいに、

「ごはんがいい。」

と、こたえます。わたしは、ごはんがだいすきです。かめばかむほど、あまくなって、とてもおいしいからです。それに、どんなおかずにでもあうからです。やいたしゃけにもぴったりだし、めかぶをかけてもおいしいし、やきにくとごはんもさいこうです。

でも、わたしが、ごはんがだいすきなりゆうは、ほかにもあります。わたしがまいにちたべているごはんは、だいすきな、おじいちゃんがつくっているからです。

おじいちゃんは、まいにちたんぼへ行って、くさかりをしたり、みずのりょうをみたり、くすりをふったりして、いっしょうけんめいおこめをそだてています。たんぼからかえってくると、おじいちゃんのさぎょうぎは、どろやくさがいっぱいついていて、あせでびっしょりになっています。それをみると、

(がんばったんだなあ。)

と、おもいます。みんなが、

「おいしい、おいしい。」

と、たべてくれるように、がんばっているんだとおもいます。

おじいちゃんは、ときどき、おとうとやわたしをトラクターにのせてくれます。とてもたのしくて、おじいちゃんをみると、おじいちゃんはうれしそうに、にこにこしています。ひろいたんぼで、トラクターにのっていると、とってもきもちがいいです。

わたしは、おじいちゃんがたいせつにそだてたおこめを、まいにちのこさずたべています。おじいちゃんのおこめは、さいこうにあまくて、さいこうにおいしいです。